

アスベスト問題におけるこれまでの対策について

1. 経緯

本年6月29日に大手機械メーカーからアスベストに係る健康被害状況について、公表され、その後相次いで関係企業等から同様な内容が公表され社会問題化している。県では、県民の不安の払拭に向け、アスベスト問題庁内連絡会議（以下、「連絡会議」という。）を設置し、関係部局が情報を共有し、連携して公共施設や学校等におけるばく露防止対策等の被害の拡大防止、健康相談窓口の開設等に取り組んでいる。

2. 連絡会議の開催状況

第1回連絡会議（7月14日）

- ・国からの通知や相談窓口の設置状況等について情報交換

第2回連絡会議（7月20日）

- ・相談事例・件数等について情報交換
- ・アスベストに関する県民向けの間答集等を周知（県HPに掲載）

第3回連絡会議（8月2日）

- ・県有施設等使用実態調査の調査手法、対象範囲等を定めた。

第4回連絡会議（9月13日）

- ・県有施設等使用実態調査の中間報告
- ・「吹付けアスベスト等に係る措置の選定基準等について」
- ・調査・公表の迅速化に努める。

3. 県有施設等使用実態調査

県有施設等（9/13現在）

調査対象の1065施設のうち739施設について吹付けの有無の確認を終了。6施設で使用が判明。うち3施設は過去に措置済み。残り3施設は立入禁止等の措置。70施設は分析中。（別添資料2-2、2-3のとおり）

県立学校等の県立教育施設（9/26現在）

調査対象の106施設のうち73施設について吹付けの有無の確認を終了。45施設で分析中。

4. 県有施設以外の使用実態調査

小中学校等の市町村立教育施設（9/26現在）

調査対象の1190施設のうち765施設について調査終了。79施設で使用が判明。

私立学校（9 / 26 現在）

192校のうち、152校から回答。調査対象の141校のうち、27校で吹付け箇所が確認。21校は分析中または分析予定、6校は分析の結果使用していなかった。

市町村の公共施設

76種の施設ごとに、過去に措置済み箇所数及び未処理の箇所数と今後の措置予定を調査中。

市町村の公共住宅等

調査対象の4140棟については、吹付けアスベスト及びアスベスト含有吹付けロックウールの使用はなかった。

社会福祉施設（9 / 27 現在）

調査対象の2481施設のうち1382施設から回答。62施設で使用または使用の疑い。このうち37施設は措置済み、22施設は飛散の恐れなし、3施設は飛散の恐れがある（立入禁止等）。

病院（9 / 26 現在）

調査対象の104病院のうち66病院から回答。20病院で使用が判明。

うち13病院で措置済み、5病院は飛散の恐れなし、2病院は飛散の恐れがある（使用停止中）。

民間建築物（1000㎡以上）

調査対象の1313棟のうち1038棟から回答。このうち142棟で使用が判明。19棟が対応済み、123棟が未対応。

参考

国における使用実態調査

- ・総務省（市町村施設）
- ・厚生労働省（病院・社会福祉施設）
- ・文部科学省（学校等）
- ・国土交通省（民間施設（1000㎡以上））

5 . 国への要望

10月13日に県議会環境厚生委員会が、厚生労働省・環境省にアスベスト対策に関し、要望する予定。（別添資料2 - 4のとおり）